雑誌「世界」8月号「東京電力11年の変節□第1回□被災者への攻撃」

2011年3月、原発事故から逃れて数千人の人がさいたまスーパーアリーナに避難されてきました。毎日、スーパーアリーナに通い、旧騎西高校などにも通い相談活動などを行いました。あの光景、あの日々を忘れません。

事故後、東京電力は「3つの誓い」を掲げました。被害者の方々に寄り添い最後の一人まで賠償を貫徹すると誓いました。

ところが、原発事故から11年が過ぎ、東京電力は、被害者に寄り添うどころか、被害者を攻撃し、その苦悩に追い打ちをかけています。

雑誌「世界」8月号「東京電力11年の変節□第1回□被災者への攻撃」は、東京電力の変節の実態を追う連載の第1回であり、攻撃された被災者を取材しています。是非、お読みください。

弁護士 猪股正

世界 SEKAI 岩波書店 8

世界の潮
私物化された国家のゆくえ スリランカ経済危機 ―― 荒井悦代 10
憲法審査会 ―― 蔓延するショック・ドクトリン論法 ―― 桐山桂一 15
失望と希望の間で 政権交代のオーストラリア ―― 永野隆行 19
上智大学に是正勧告、非常勤講師への賃金不払い ―― 東海林智 23

特集1 ジャーナリズムの活路
ジャーナリズムはどこに息づくか ―― 依光隆明（ジャーナリスト） 74
"異なる事実"とどう向き合うか ―― 瀬川至朗（早稲田大学） 86
持続可能なメディアはヤフーに頼らない ―― 下山進（ノンフィクション作家） 96
メディアは自らを改革できるか ―― 南彰（朝日新聞） 104
マスメディアがニューメディアに脱皮する ―― アメリカのテレビ界で何が起きているか ―― 重延浩（テレビマンユニオン）×テッド若山（NSリサーチ） 113
エクソダス現象と終わらない絶望 ―― 坂上香（ドキュメンタリー映画監督） 124

東京電力 11年の変節 第1回 ―― 被災者への攻撃 ―― 後藤秀典（ジャーナリスト） 27
ルポ 副反応 第1回 ―― なぜ、息子は死んだのか ―― 山岡淳一郎（ノンフィクション作家） 40
分断を超える「女性支援」へ ―― 新法はこうしてつくられた ―― 戒能民江（お茶の水女子大学名誉教授） 50
香港からの通信 第2回 ―― 破られた約束 ―― 郭栄鏗（ハーバード・ケネディスクール） 58

特集2 労働運動の復権
新たな歴史を紡ぐアメリカ新世代の労働運動 ―― 松元ちえ（ジャーナリスト） 178
アメリカ労働組合運動の再興？ ―― 中窪裕也（一橋大学特任教授） 187
プラットフォームワーカーの自由と保障 ―― 沼田雅之（法政大学） 199
芸能人の過酷な労働実態 ―― 森崎めぐみ（俳優） 207
「静かな活性期」迎える女性労働運動 ―― 「生身の労働者」からの示唆 ―― 竹信三恵子（ジャーナリスト） 218

サイバー空間の新技術はどこから犯罪になるのか ―― 西貝吉晃（千葉大学） 226
サイバー警察局の設置は何を意味しているか ―― 村井敏邦（一橋大学名誉教授） 236

SEKAI Review of Books
誰が誰に「死んでくれ」と命じるのか ―― 問いへの応答の書 ―― 木村英昭（ジャーナリスト） 258
読書の要諦 ―― ノンフィクション 独裁者と文学者 ―― 青木理（ジャーナリスト） 266
新刊 変革への代替案 ―― トマ・ピケティ著『来たれ、新たな社会主義』 ―― 綿貫ゆり（千葉大学非常勤講師） 264
新刊紹介 269

大学の解体、民主主義の解体 ―― 「稼げる大学」法案を貫く統治理性 ―― 駒込武（京都大学） 138
アカデミアの軍事動員 ―― 経済安保法「官民協議会」の企図 ―― 井原聰（東北大学名誉教授） 150
経済安保法と防衛産業 ―― 望月衣塑子（東京新聞） 160
経済安保の人脈と文脈 第3回 ―― 中国は敵か 憂える経済人 ―― 斎藤貴男（ジャーナリスト） 170
デジタル・デモクラシー 第8回 ―― 暗躍するデータブローカー ―― 内田聖子（PARC） 131
リニア新幹線は可能か？ 第2回 ―― 陥没と田園調布 ―― 樫田秀樹（ジャーナリスト） 244
近代史におけるロシアと日本の相関 ―― ウクライナ危機とロシアの本質（その3） ―― 寺島実郎 64

連載
片山善博の「日本を診る」(153) ―― 広島県安芸高田市長と市議会との対立 ―― 片山善博（大正大学） 70
メディア批評 第176回 ―― 神保太郎（ジャーナリスト） 253
気候再生のために 第3回 ―― 変えれば、変わる ―― 江守正多（国立環境研究所） 270
いま、この惑星で起きていること 第32回 ―― 気候変動のもとで四季はめぐる ―― 森さやか（気象予報士） 274
沖縄という窓 ―― 舞台で問い続ける「戦世」の歴史 ―― 山城紀子（フリーライター） 278
お許しいただければ ―― 紛失したステッキ（E・V・ルーカス） ―― 訳＝行方昭夫（英文学者） 280
原発月報 (22・5～6) ―― 福島原発事故記録チーム 284
ドキュメント激動の南北朝鮮 (300) ―― (22・5～6) ―― 編集部 286
民話採光 ―― 阿部海太（画家・絵本作家）

読者投句・岩波俳句 ―― 選・文＝池田澄子（俳人） 292
アムネスティ通信 176
読者談話室 294
編集後記 296